

校長室の窓

たかがカバン、されどカバン

校長 田川 耕太郎

1月18、19日の2日間、本校が大学入試センター試験の会場となり対高の3年生56名が挑みました。センター試験は模擬試験とは違うので、運営や監督のために長崎県立大学から30名を超える先生方が対高に来校されました。その折に、責任者の先生が「数年前に印象に残る生徒がいました」と次のような話をされました。「以前、選択科目の関係で受験教室に受験生が対高生1人ということがありました。たとえ受験者が1人であっても監督は3人付きます。試験が終わった時に、我々3名に対して深々とお辞儀しながら、しっかりと声でありがとうございますとお礼を言ってくれました。監督者は、受験者と不必要な会話は禁止されていますので、心の中で『頑張っね』と激励して教室を出ました。」というエピソードでした。挨拶が習慣化されると、どんな場面でも自然と言葉が出てくるものです。挨拶によって人格が磨かれ、凛とした姿で試験に臨み、いつもと変わらない挨拶をした対高生が目に見えてきました。

習慣化ということであると、今回のセンター試験でも、とても頼もしい光景を目にしました。それは控室から受験教室に移動する際、校内の移動であるにも関わらず、毎時間、黒の学生カバンを持って受験教室に向かっている対高生が何名もいたことです。わずかな教材ならちょっとした手提げバッグでもいいのではと思いますが、それはこれまで3年間毎日使った学生カバン。制服を着れば手には学生カバン、とある意味習慣化された生活を送る中で、学習教材を常にカバンの中に入れて登校（移動）することが当たり前になっているのでしょう。何気ないことですが、その3年間の積み重ねの中で、カバンの中には蓄えられたものがあるはずです。それは、自信、誇りそして学力といった目には見えない「力」ではないかと思います。「凡を尽くして非凡をなす」という言葉があります。当たり前の積み重ねが驚異的な成果を生み出すという意味です。この対馬高校には補習の前にトレーニングをして一汗かいている生徒がいます。商業科の中には、自主的に補習の時間に登校して学習している生徒がいます。やっていることは違っても、一歩前に踏み出してそれを継続して取り組んでいる生徒がたくさんいることを嬉しく思います。

小さな努力の積み重ねが大きな力になるのと同じように、対馬高校は、学校があって君たちがいるわけではありません。君たち一人一人がいて、それが集まって対馬高校というものができあがっているのです。つまり対馬高校という学校は、その姿、形があらかじめ決まっているのではなく、君たちの努力次第でどれだけ輝く学校になるのです。そんな学校にしてみたいと思いませんか。

ひたむきに努力する3年生を応援しています。



学年主任より



1 学年主任 當山暢平先生

『1.礼儀正しくふるまう 2.自分を鍛える 3.多様性を力にする』これは1学年の学年目標です。3学期の始まりに、生徒に改めて学年目標を意識してほしいと伝えました。友人や先生に挨拶ができていないか、何かをしてもらった時には「ありがとう」と言っているか。礼儀正しさは集団の力を高めていく上での原理原則です。そして学業と部活動に真剣に取り組んでいるか。勉強や部活動ほど人を成長させるものはありません。集団を支えるしっかりとした個になれるよう、人としての器を広げてほしいと思います。最後に、色々な人間をひとつのチームにするのは難しい、だからこそ、ひとつになった時に爆発的な力を発揮できる。多様な人間が集まった74回生だからこそできる、そんなチームを作っていきたいと思います。

2 学年主任 中村孝治先生

2020年が始まりました。73回生の皆さんは、昨年ESD対馬学や修学旅行などの学校行事を経験したことで大きく成長していると感じています。今年は高校3年生になる年です。そして、高校生活最後の一年となります。

イタリアの物理学者ガリレオ・ガリレイが望遠鏡による天体観測を行ったのは、有名ですが、世界で最初に行ったわけではありませんでした。彼が優れていたのは、望遠鏡が提供してくれた二次元の模様から月表面も地球表面と同じように起伏があって、山や谷に満ちていると考えた点でした。つまり、望遠鏡によって得られた情報から月面の姿を想像するにあたって、自分の身の回りにある自然現象からの類推を行ったのです。

皆さんがこの一年ですべきことは、ガリレオが行ったような類推です。これまでの自分の経験と学んだことを踏まえ、これからの生活や自分の進路について考え、実践してください。「悩み、考え、そして前を向いて努力する。」そんな一年にしてください。

学年目標は『とことん挑戦、そして成長（変化）』でした。心も体も大きく成長した73回生一人ひとりが進路実現に向かってひたむきに努力する姿を期待しています。



3 学年主任 山田健司先生

いよいよ卒業まで残された日にちが少なくなってきました。それぞれ心の準備はできているでしょうか。もちろんまだまだ自分の進路に向かって一生懸命頑張っている人もいます。それぞれができる最大限のことを、周りに配慮しつつ、進めてほしいと思います。そして何より、3年生としてのあるべき姿、「至誠剛健」の体現をぜひ後輩たちに見せてください。皆さんが先輩方から受け継いだ伝統を今度は、次の世代へと引き継ぐ時です。対高生としての最後の仕事を滞りなく全うしましょう。あと一月ほど、どうぞよろしくお祈りします。

大学入試センター試験を迎えて

本校 72 回生 55 名が、1 月 18 日(土)、19 日(日)に大学入試センター試験を対馬高校で受験しました。今回が最後の実施となるセンター試験でしたが、厳しい寒さ等の天候的な心配がほとんどない中で当日を迎え、無事に終えることができました。この後は、受験校の決定、出願、個別試験への準備と、嵐のような日々が続きます。走り続ける受験生、それを支える保護者の方、指導にあたる先生方、大変な日々はまだ続きますが、受験生にとっては、ここでの頑張り、次のステージでの土台となります。全員が「行ける大学」ではなく、「行きたい大学」に進めるよう、今ここで頑張り、次のステージを手にしていきましょう。



桜ヶ丘寮より

舎監長 井上翔太先生

大学入試も本格的に始まり、いよいよ今年度の終盤に差し掛かってきました。3年生はいよいよ実社会に飛び立つ日が近づいてきています。寮生の3年生も早いもので、退寮式が今月末に行われます。3年生にはまず親元から離れ、人一倍苦労してここまで来たことに敬意を表します。本当にお疲れ様でした。

真珠の養殖は対馬でも有名ですが、真珠はアコヤガイの体内で生成される宝石です。アコヤガイは、石が体内に入り、それを受け入れ、苦労をしながら時間をかけ、その石を宝石に変えていきます。君たち自身も苦労を受け入れ、覚悟を決め、自分を育てていくことでいつか宝石のように輝くかもしれません。その石を途中で吐き出してしまえば、ただの石のままです。どうか自分の中の宝石をこれからも磨いていって下さい。

新男子寮長 2年2組 平間晶大さん

3年生のみなさん、3年間お疲れ様でした。特に男子寮長の國分先輩は、他に同学年がいないにも関わらず、たった一人で落ち着きのない私たちをまとめてくださり、本当に頭の下がる思いです。先輩はとても頼りになる存在で、見習わなければならないところがたくさんあります。私たちも頑張るので、先輩も自分の夢に向かって突き進んでください！

新女子寮長 2年5組 西川さくらさん

3年生の皆さん、寮生活お疲れ様でした。3年間親元を離れ、周りと違った環境での生活は、楽しかったことも辛かったこともあったと思います。ですが、その中でも頑張っている先輩方の背中には私達の励みとなり、憧れになりました。これからはそれぞれの場所での新生活を頑張ってください。応援しています。今までありがとうございました！

2月の行事予定

1日(土)	土曜補習(3年) 対外模試(2年)	13日(木)	学年末考査(1・2年)(~18日)
2日(日)	対外模試(2年) 全商商業経済検定	15日(土)	土曜補習(3年)
5日(水)	推薦・離島留学入試 (生徒自宅学習)	22日(土)	土曜補習(3年)
8日(土)	土曜補習(3年)	25日(火)	代休(2/29分)
		26日(水)	進路ガイダンス(2年)
		29日(土)	卒業式予行

生徒・先生より

今月は、卒業式などのセレモニーで大活躍する吹奏楽部のお二人です！

吹奏楽部部長 松本 来楽(まつもと・きら)さん(2年4組)

① 会 ② 特にありません ③ 部活

メッセージ

私たち吹奏楽部は、3年生の晴れ舞台である卒業式で毎年演奏を行っています。今年は7人というとても少ない人数ですが、今までの感謝の気持ちを演奏で伝えるために、11月から地道に練習を積み重ねています。感動的な卒業式にできるよう精一杯頑張りますので、よろしくお願いします！



吹奏楽部顧問 鶴見 サユリ(つるみ・さゆり)先生(2年4組担任)

① 探 ② 芸術 ③ King Gnu を聴くこと・弾くこと

メッセージ

何かに挑戦するとき、私は次の言葉で自分を勇気づけます。「求めなさい。そうすれば、与えられる。探しなさい。そうすれば、見つかる。叩きなさい。そうすれば、開かれる。」みなさんも無限に広がる可能性を信じて、さまざまなことにチャレンジしていきましょう。



※質問事項…①高校生活を漢字1字で表すと？ ②好きな教科・科目 ③最近ハマっていること

イラストは、藤川先生(松本さん)・2-4阿比留蓮さん(鶴見先生)が書いてくださいました！